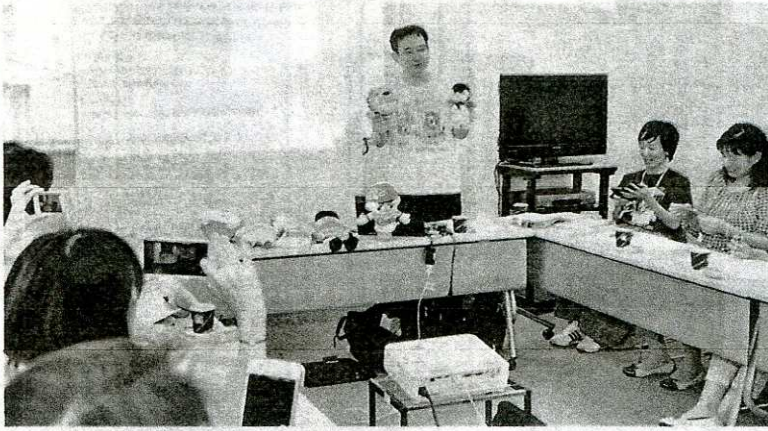


川崎

# 憲法の危機に気付いて

## 川崎・横浜のお母さんたち

川崎や横浜市内などに住む母親たちでつくるグループが十九日、横浜市青葉区で、気軽な雰囲気でも憲法の基礎を学ぶ会を開いた。ライオン(権力)が暴走しないように縛る檻に憲法をたとえた「檻の中のライオン」(かもがわ出版)の著者である棟大樹弁護士が講演。「共謀罪」の趣旨を含む改正組織犯罪処罰法などにも触れ、参加者は熱心に耳を傾けた。(山本哲正)



①パペットを使って檻の中のライオンを表現する棟さん＝横浜市青葉区で。②棟大樹さんの著書「檻の中のライオン」(おてふな会提供)



このグループは、主に小田急線、田園都市線、ブルーライン(横浜市営地下鉄)、南武線の沿線に暮らす人がメンバー。名称は、鉄道の頭文字を並べて「おてふな会」という。メンバーの鈴木法子さん(自)が、棟さんが憲法について話すのを都内で聞き、おてふな会としても、憲法を学ぶ会を開きたいと考えたという。

この日、会場となったのは横浜市の施設の会議室。フェイスブックなどで事前に案内したところ、メンバーのほか、一般の希望者も加わり、計約二十人が参加した。

棟さんは、憲法の仕組みや意義を解説した自著に沿って、動物のパペットなどを使いながら話を進めた。

県内の天気

	きょう	あす
横浜		
海老名		
小田原		

きょうの予想 (横浜)  
 降水確率 朝0% 昼0% 晩0%  
 気温 最高28度 最低20度  
 北の風後南の風

## 弁護士招き学習会 「共謀罪」も取り上げ

参加した川崎市高津区の主婦(左)は「改正組織犯罪処罰法が成立し「喉元過ぎれば」となりがちだが、危機的な状況なんですよ」と感想を述べた。また、愛川町のパート研究職中村文美さん(右)は「憲法の話は聞き、私たちが幸せに生きるには必要な知識だと思った」と振り返った。鈴木さんは「内閣支持率は低下したが、今後どうしても改憲の話が出てくる流れ。改憲の問題点を広めたい」と話した。

改正組織犯罪処罰法が成立した現状は「動物園なら、檻が壊れかけりライオンが出かかっているのに(気付かず)楽しんでる状態」と説明。憲法が壊れかかっているのに気付かない国民が多いのでは、との見方を示した。また、この法の目的が「『東京五輪のため、テロのため』は、真に受けられない。言論弾圧をする時に『今から弾圧するぞ』とは言いません。権力(ライオン)は憲法(檻)を壊したがついていって、近年の立法の動きも取り上げた。特定秘密保護法は、政治が適正に行われているか国民から判断されるのを防ぐため「知られないよう檻にカーテンを付けた」と断じた。

自民党が、災害時に国会議員の任期を延長できる緊急事態条項の新設も改憲議論の中心に据えたことには「ライオンが内側から力半を開けられ、いつ檻に帰るかもライオンが決める。檻の意味がなくなる」と解説した。

川崎支局  
 〒210-0006  
 川崎市川崎区砂子1-1-14  
 JTB川崎共同ビル5階  
 ☎ 044-222-1011  
 FAX 044-245-9514  
 mail:kawasaki@tokyo-np.co.jp

横浜支局  
 ☎ 045-201-1151  
 麻生 044-966-8908  
 中原 044-733-0750  
 榑原 046-822-0126  
 鎌倉 0467-45-6428  
 藤沢 0466-28-6359  
 小田原 0465-32-1272